

詰め替え用パウチ回収 資源循環プロジェクト

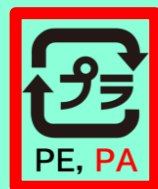
使い終わった詰め替え用パウチ 鹿大の研究に役立てませんか？

回収対象品の例



回収対象

- 使用後の詰め替え用パウチ
 - ・洗剤類(食器用・洗濯用・住居用)
 - ・トイレタリー製品
(シャンプー・ボディソープ等)
- 食品包装
 - ・お米等のナイロンを含む包装



PA表記が
あるもの

- ☆ 中を軽く水洗いしてください。
- ☆ キャップやチャック部分は切り取ってOK。
- ☆ 酷く汚れたままのものはNG。

回収ボックス設置場所

- ※ 郡元キャンパス内での回収になります
- ※ 桜ヶ丘・下荒田の方は学内便送付OKです



1人1枚からでもご協力お願いします！

学内便送付先

- 社会連携課 J-PEAKS担当宛
- ※ 箱や封筒など形態は問いません
- ※ 水漏れ等がないようお願いします

あなたの協力が鹿児島大学の研究に繋がります！



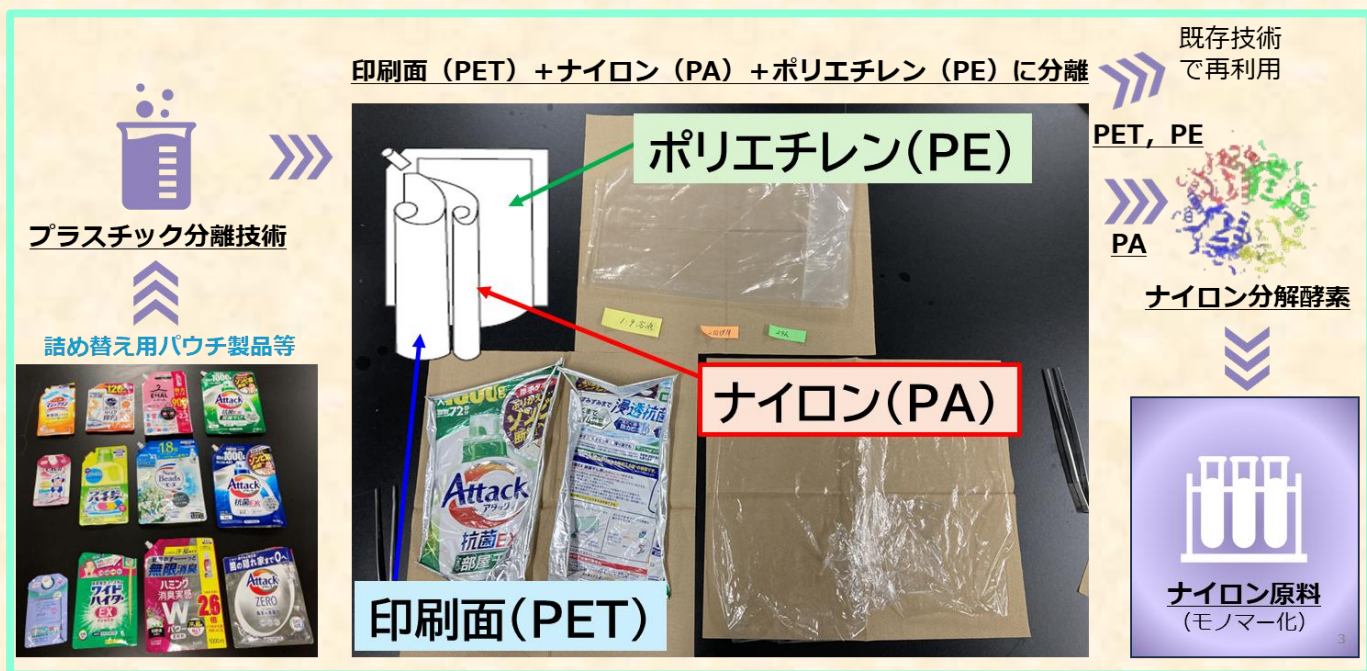
お問い合わせ先
南九州・南西諸島域イノベーションセンター
担当:南 (k7630519)
研究推進部 社会連携課 産学・地域連携係
担当:植田 (k0520963)
E-mail:ku-j-peaks@kuas.kagoshima-u.ac.jp

集めた積層プラスチックを活用する鹿大発の研究 ～捨てるしかなかったナイロンのリサイクルに向けて～

詰め替え用パウチは性質の異なる複数のプラスチックが重なった多層構造をしているため、これまでリサイクルの対象とはならず、燃えるゴミとして処理されてきました。このプロジェクトでは鹿児島大学の研究成果を活用し、詰め替え用パウチを大切な資源として、特に難しいナイロンのリサイクルを目指します。

また、「**地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)**」の一環として行います。学生や教職員の日常生活におけるちょっとした行動変容が鹿児島大学の研究の大きな推進力になることを示し、大学全体の研究力向上に繋がります。

協力:理工学研究科 加藤太一郎研究室



Q なぜそんなに大量の詰め替え用パウチが必要なの？

A 社会実装に向けた実験を推進するためです！



化学実験室で生まれた技術を社会実装に向けて動かしていくには、より大きな反応装置で、より大量のサンプルを使った実験が必要です。研究室だけでは集めきれません！皆様のご協力よろしくお願いします！



お問い合わせ先
南九州・南西諸島域イノベーションセンター
担当:南 (k7630519)
研究推進部 社会連携課 産学・地域連携係
担当:植田 (k0520963)
E-mail:ku-j-peaks@kuas.kagoshima-u.ac.jp